

みやざき市 ケアマネ協たより



宮崎市介護支援専門員
連絡協議会

広 報 誌
発行日：2016年3月16日
第 15 号



4連絡協議会合同研修 平成28年2月6日（土）



清山先生による講演



会場の様子



後藤先生による講演

今年度は、「食べる楽しみを支える口腔ケア」をテーマに、宮崎市訪問介護事業者連絡協議会が担当となり、清山先生、後藤先生をお招きし、ご講演をいただきました。口腔内の疾患が原因で、肺炎や糖尿病などの重大な疾患をもたらし、また、大震災などの災害時にも、口腔ケアが行える環境にあれば災害関連死をもっと防げたとのことで、いかに口腔内のケアが重要であるかを再認識できました。

シンポジストでは、清山先生の司会のもと、実際高齢者ケアに携わっている専門職がそれぞれの立場から、現状や今後の課題などについて意見を交わしました。



シンポジウム



福祉用具の展示も
ありました

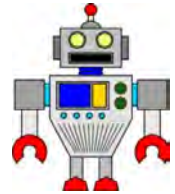


かわいらしい歯科の
ポスター



介護施設にロボット登場！！

委員の突撃取材編



安倍総理は一億総活躍社会の実現を打ち出しました。その内容は「希望を生み出す強い経済」「夢をつむぐ子育て支援」「安心につながる社会保障」の「新・三本の矢」です。介護の現場にも目を向けており、その中に『介護ロボットの領域』があります。今回、いち早く介護ロボットを導入した、宮崎市の介護施設に取材に行ってきました。

宮崎市田吉東前島にあるデイサービス「はくじゅ」です。1年半前に人工知能を搭載したヒト型ロボット「pepper」を導入し、施設で行われるレクリエーション等で活躍しています。

(記者)ヒト型ロボットを導入した目的は？

(宮浦さん)当初は会社のブランディングのために導入しました。

話題性やエンターテインメントを目的としています。

取り入れた経緯は、ある社員の『うちもロボットを入れたら

おもしろそうですね？』という何気ない一言からでした。

メンテナンスや必要経費など大変な部分はありませんが、

様々な場面で活躍できると判断され導入に至りました。

(記者)利用者さんの反応はどうか？

(高橋管理者)私たちが初めて「pepper君」を見たときに『怖い』という印象を受けたので正直不安でしたが、利用者さんは思ったより受け入れが早かったですね。

多分背丈も低くて、声もかわいいのでお孫さんのような印象を受けるのではないのでしょうか？

目線も同じくらいで、言葉もしっかりしているので私たちの言葉よりよく聞き取ってくれるんです(笑)

(記者)導入後の効果はどうか？

(高橋管理者)「pepper君」は毎日施設にいるわけではなく日にちを決めてその時に来してくれます。

その時はレクリエーションのアプリを入れており体操や脳トレなどpepper君が主導で行ってくれます。

利用者さんは「pepper君」に夢中になり、職員は主に見守りとなります。また、利用者さんの満足度も高いと思います。



(記者)今後長期的に見てロボットの展望はいかがですか？

(宮浦さん)そうですね、利用者さんも初めは物珍しさから楽しんでくれますが、いずれは慣れてしまいます。今後はここのデイサービスオリジナルのアプリを開発し利用者さんの個性にあった対応をしていかなければいけないと思っています。

しかしまだそのアプリを開発してくれる業者が無く、今探している段階です。

(高橋管理者)スタッフの中に「pepper君」の担当が2人います。その二人が今後「pepper君」に何をしようか、何ができるかを企画しています。今の若い職員はITにたけているのでいろんなアイデアが次々に出てきています。そこから新たな利用者さんのニーズやケアの向上につながり、それがスタッフの自主性を育てていると思います。

(記者)施設の利用者さんによってもスタッフにとってもいい刺激になっているのですね。

本日はお忙しい中ありがとうございました。

2015年 介護支援専門員実務研修受講試験(第18回)

昨年度の介護支援専門員実務研修受講試験は

①免除科目が廃止

②介護支援分野と保健医療福祉サービス分野それぞれの分野で合格基準点以上の正答の場合に合格
そして、27年4月の介護保険改正もあり、受験生にとってはハードルの高いものとなりました。

また、今年度から実務研修時間が大幅に増えることとあって駆け込み受験も多かったと聞いています。

さて、私たち現役のケアマネジャーは試験に追われることはなくなりましたが、改正が繰り返され、変わっていく介護保険制度をどれだけ理解しながら、業務を行えているのでしょうか？時には振り返りとして試験問題に目を通して見るのもいいかもしれませんね。

ここで、ちょっと難しいと言われた問題を挙げてみます。力試しをしてみてください。

分野別合格点

分野	問題数	合格点
介護支援分野	25問	13点
保健医療福祉サービス分野	35問	25点

第18回ケアマネ試験合格率

	受験者数	合格者数	合格率
全国	134,884	20,923	15.51
宮崎県	1,643	218	13.27

回答速報において回答割れした問題

問題5 介護予防・日常生活支援事業について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 介護給付等適正化事業を含む。
- 2 包括的支援事業の一つである。
- 3 地域支援事業の一つである。
- 4 要介護の第1号被保険者も対象である。
- 5 第1号生活支援事業と第2号生活支援事業がある。

問題54 介護保険における福祉用具について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 介助用電動車いすは、福祉用具貸与の対象となる。
- 2 水洗ポータブルトイレの設置に要する費用は、給付対象となる。
- 3 認知症老人徘徊感知機器は、外部との通信機能を除いた部分については、給付対象となる。
- 4 複数の福祉用具を貸与する場合、通常の貸与価格から減額して貸与できる。
- 5 自動排泄処理装置の専用パッドや洗浄液は特定福祉用具販売の対象となる。

難問との声が高かった問題

特に介護支援分野は難問が多く、例年通り第1問目は手ごわかったようです。

問題1 介護保険法に定める保健福祉事業として正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 指定居宅介護支援の事業
- 2 介護保険施設の運営事業
- 3 日常生活自立支援事業
- 4 指定地域相談支援事業
- 5 要介護被保険者を現に介護する者の支援のために必要な事業

問題19 介護支援専門員が指定居宅サービス事業者に対して提出を求めるものとされている個別サービス計画として正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 訪問介護計画
- 2 訪問入浴介護計画
- 3 訪問看護計画
- 4 訪問リハビリテーション計画
- 5 居宅療養管理指導計画

正答とちょっと解説

- 問題5 3, 4(3, 5と回答割れ) 1 任意事業、 5 第2号はない
2 包括的支援事業の7つの業務①介護予防マネジメント②総合相談支援業務③権利擁護業務
④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務⑤在宅医療・介護連携推進事業
⑥認知症総合相談事業⑦生活支援体制整備事業、
- 問題54 1, 3, 4(1, 3, 5と回答割れ) 1, 4は2015年4月からの改正事項
- 問題1 1, 2, 5 3 社会福祉法に基づく福祉サービス利用援助事業、
4 障害者総合支援法に基づく相談支援事業
- 問題19 1, 3, 4 2, 5は個別サービス計画の作成は義務付けられていない



みんな仲間だ!ケアマネの輪

会員の生の声をリレー方式でお伝えします (PR、フキ自慢、近況など・・・)

事業所名	石井記念こひつじ居宅介護支援事業所
住 所	〒880-0806 宮崎市広島1丁目7-18
電話番号	(0985) 89 - 3622
FAX番号	(0985) 89 - 3623
 	■ 事業所の紹介 当法人は、日本で最初に孤児院を創設した人物であり、「児童福祉の父」と言われている、石井十次の精神 ・ 自然主義 ・ 家族主義 ・ 友愛主義 ・ 自立主義 を基本目標として大切にしています。 居宅介護支援事業所は、居宅サービス計画を作成するとともに、同計画に基づくサービス提供が確保されるよう関係諸機関との連絡調整を行い、入院・入所が必要な場合には入院・入所先への紹介等の便宜を提供する事その他の必要な支援を行う事により、要支援・要介護者等がその有する能力に応じ自立した日常生活を営めるようにする事を事業の目的としております。

事業所名	グループホーム楓
住 所	〒880-0924 宮崎市大字郡司分甲1570番地1
電話番号	(0985) 56 - 2277
FAX番号	(0985) 56 - 2281
ホームページ	http://www.miyazaki-catv.ne.jp/~sakai-co/index.html
E-mail	sakai-co@miyazaki-catv.ne.jp
 	■ 事業所の紹介 南側は斟鉢山(くんぱちやま)と日の出を拝むことができ、北側にはホテル保存地域として『郡司分せせらぎ水路』がある、自然に囲まれた環境にあります。私達の法人は、認知症介護を目的として11年程前に設立しました。これからも、認知症の方々が増えていく中で、徘徊や妄想などの行動・心理症状が表出している方に手をさしのべたいと思い介護を行っています。ぜひ、お近くに寄られた際はお気軽にお越し下さい。宜しくお願い致します。
	 LINEとFacebookに食事や施設の雰囲気が解かるような写真などを投稿していますので、ご興味のある方など、ご覧ください。

編集後記

桜の花も開花し、春を感じる今日この頃いかがお過ごしでしょうか。花見はいかれましたか？時には息抜きに、外で過ごすのも良いかもしれませんね♪

平成27年度は、今別府理事・岩切委員長を中心に、掲載する内容や見やすさなど全員で話し合いながら和気あいあいと楽しく活動させて頂きました。今回、宮崎県内で介護支援専門員が218名(13.3%)合格されております。多くの方々が、新しく宮崎市介護支援専門員連絡協議会に入会して頂けることを楽しみにしております。

